

五穀の豊作を願って 霜神社の火焚き神事始まる



薪に火を付ける絢葉さん（左）と、
介添えの美津江さん。

農作物を霜の被害から守り豊作を祈る霜神社の火焚き神事が8月19日に始まり、同神社の火焚き小屋に火を入れる「乙女入神事」が行われました。

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つである火焚き神事は、阿蘇開拓の神である建磐龍命の由来「鬼八」が、首を斬られたことによる恨みを鎮めるために始められたとされます。祀られた鬼八のご神体を温める火の世話人「火焚き乙女」は、今回で2574代目とも言われています。

ことしの火焚き乙女の佐藤絢葉さん（阿蘇小学校2年）と介添えの佐藤美津江さん（竹原）は、起こされた火種を火焚き小屋で受け取り、ご神体に火を灯しました。10月16日までの59日間、年番の竹原地区の世話役が交代で火焚きを続けます。

終戦前後の坂梨小はどうだった？ 地域住民が当時の思い出語る

坂梨小学校4年生（10人）が8月17日から19日にかけて、阿蘇青少年交流の家で集団宿泊「自然教室」を行い、同小を卒業した中川竹久さん（下町）が終戦前後の坂梨小学校の体験について講話しました。

中川さんは、終戦後にアメリカ兵が学校を訪れ驚いた話や、分散教育で児童が分かれて学校に通っていた話など、当時の出来事を交えながら思い出を語りました。

児童は「昔の坂梨小のはなしが聞けて良かった」と感想を述べました。



自作の地図で当時のようすを語る中川さん（左）

障害年金 無料相談コーナー

※ご病気や事故で身体に一定の障害が残存した場合、障害給付を受けられることがあります。先ずはお気軽にご相談下さい。



（受付 9時～17時、日曜休み）

弊所の主業務ご案内

◆迅速、丁寧、親切をモットー

◆申請時の着手金は無料です

労働・社会保険加入／脱退・労働契約・労働条件・就業規則／規程・保険請求・賃金計算・雇用／人事等・ETC

SRJ 軸丸社労士事務所

☎ 0967-22-1201（FAX同）

携帯 080-1449-9444

☎869-2611

熊本県阿蘇市一の宮町坂梨610番地1

（R57東進、坂梨小学校前信号左折すぐ）

広告

(敬称略、大会開催日順)

全国、世界で大活躍！ テコンドー競技

●ジュニアオリンピックカップ 第7回全日本ジュニアテコンドー選手権 (7月27日、長野県)

- ▶高校生女子+ 52kg 級
優勝／本田琴子（阿蘇中央高校3年）
- ▶高校生女子 - 46kg 級
第3位／西村真利愛（韓国昌原龍湖高校2年、一の宮中出身）
- ▶中学生女子 - 51kg 級
第3位／米田 優（一の宮中学校2年）
- ▶小学生6年男子
第3位／田北歩夢（宮地小学校6年）



市役所での表敬訪問のようす

●第3回ソナム国際 ジュニアテコンドー大会 (8月14日～17日、韓国城南)

- ▶ - 41kg 級
準優勝／富田大翔
(宮地小学校6年)



写真右が富田さん

全国大会出場おめでとう！

- 全国高等学校体育大会 競泳フリーリレー
(8月17日～、長野県)
- 第69回国民体育大会 競泳
(9月12日～、長崎県)
有働 穂加（九州学院高校1年、阿蘇中出身）
- 第69回国民体育大会 陸上競技400m走
(10月18日～、長崎県)
江藤 拓都（九州学院高校2年、阿蘇中出身）

16年続く小さなコンサート りんどう保育園 アマービレコンサート



りんどう保育園で7月25日、アマービレコンサートが開かれ、園児や保護者、地元住民が集まり、演奏を楽しみました。

このコンサートは、同園卒園者の村上喜久子氏（熊本市在住）ほか2名が身近に音楽を楽しんでもらおうと毎年開いているもので、ことしで16回目を迎えます。

演奏は映画「アナと雪の女王」のテーマソングや「火の国旅情」などを披露し、園児たちは手拍子をたたいて楽しみました。

【お詫びと訂正】

広報あそ8月号5㉔、9㉔、15㉔の内容に一部訂正がありました。お詫びして修正します。

5㉔：140基の免震設備 ⇒ 72基の免震設備

9㉔：北側から出庫 ⇒ 南側から出庫

15㉔：住大翔さん（一の宮中学校）⇒（阿蘇中学校）

ネットでローン、簡単お申込み！

けんしんのWebローンサービス

24時間インターネットからローンのお申込みがご利用いただけます。

- 車、教育、リフォーム等に関する資金
 - お使いみちが自由なフリーローン
 - 急な出費のためのカードローン etc...
- 詳細については当組合ホームページをご覧ください。

金利引き下げの実施

インターネットからローンを
お申し込みいただいた方に限り、

金利0.2%
引き下げいたします！



しんくみイメージキャラクター 本仮屋ユイカ

田空わがまち 白慢

第9回

乙 姫 区

乙姫区の皆さん（子安河原観音にて）



A S O 田園空間博物館では地域ならではの魅力を伝えるため、地域の方々と協力した散策イベントを定期的に開催しています。

地域活動を活発に行っている団体の取り組みを紹介する「田空わがまち白慢」第9回目は、乙姫子安河原観音や乙姫神社を管理している「乙姫区」の皆さんにお話を伺いました。

全国各地から参拝 「乙姫子安河原観音」

8 年前まで、年間数千人しか参拝者がいなかった乙姫子安河原観音ですが、現在では全国各地から年間4万人が参拝に訪れています。

ここまで参拝者を増やすために、当時の区長を始め乙姫区で集まり何度も知恵を出し合いました。

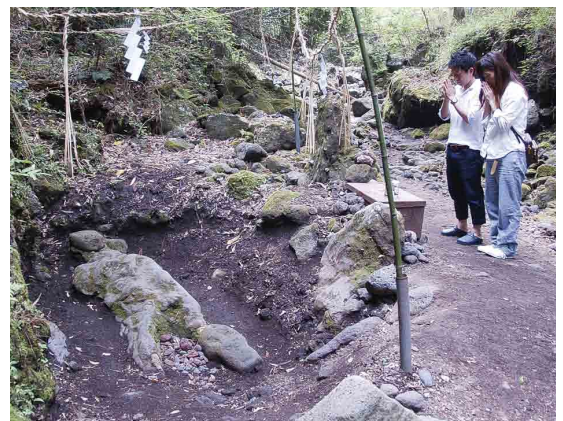
「乙姫子安河原をたくさんの方に知ってもらおう」と、最初に取り組んだことは、最寄りの内牧駅から子安河原観音までの案内図を載せたパンフレットの作成でした。その後、オリジナルの絵馬やお守りの販売、また、県外の方にも紹介できるようなホームページを作りました。また、境内に参拝者が自由に記載できるノートを設置したことで、コミュニティが広がり、参拝者が増加したのではないかと考えています。

参加者がノートに残した言葉は「ここでお参りしたおかげでかわいい女の子を授かりました」など、お礼の言葉がほとんどで、私たちも大変うれしく、また、

今以上に参拝に来ていただけるよう整備していこうと強く感じています。

グッズ好評で 乙姫神社の参拝者倍増

平 成25年度から、A S O 田園空間博物館とともに地域散策イベントを年2回程度開催しています。このイベント以外にもJR九州と年1回のウォーキングイベントの開催や熊本県民テレビの提供で県民農園（乙姫農園）を作って、一般の方に高菜やもち米の植え付けから収穫までを体験していただくイベントを



子授かり安産の守り神として祀られるご神体。川石を持って帰り股に挟むと子を授かると言い伝えられている。（子安河原観音）

開催しています。参加者には、子安河原観音の焼印を押した紅白まんじゅうをお土産として渡しており、大変喜ばれます。

他にも福岡に行き、乙姫で育てた農産物のPR販売や乙姫区の活動がわかる「乙姫新聞」を年12回発行するなど、さまざまな活動を展開しています。

特に昨年度は子安河原観音のパンフレットのリニューアル、乙姫神社の絵馬掛けの設置をおこないました。パンフレットは案内図が分かりづらいという声や、子安河原観音、乙姫神社に行っても、お参りの仕

1



2

3

- 1 祭りの後継者不足が深刻な乙姫神社大祭。こ
としも子どもたちが手作りの神輿で地域を練
り歩いた。
- 2 ASO 田園空間博物館と連携したイベントのよ
うす。
- 3 焼印を押した子安河原観音の紅白まんじゅう。

サテライト募集！

ASO田園空間博物館では、阿蘇
市内各地域の中で大切に守られ、今
後も後世へと残していきたい自然、
景観、風景、歴史、文化などを「サ
テライト」として登録しています。

皆さんが大切に管理、保存されて
いる阿蘇の「宝」をサテライトとし
て登録してみませんか？私たちが皆
さまの活動を応援します。

【詳細はこちらまで】
ASO 田園空間博物館（道の駅阿蘇）
☎ 35-5077

▷▷▷ホームページ
<http://www.aso-denku.jp/>

乙姫神社



方がわからないなどの問い
合わせが多かったことか
ら、案内図を一つひとつ見
直し、見やすく分かりやす
い地図へと作り上げ、別パ
ンフレットとしてお参りの
仕方を書いたパンフレット
も作りました。乙姫神社で
は、地域の活性化を図りた
いと考え、ASO田園空間
博物館の協力のもと、絵馬
掛けを作りました。また、
もっと参拝者を増やしたい
という思いから、お守りな
どのグッズも作り、その効
果もあり、今では参拝者の

現 在、乙姫神社では、
祭りの後継者がいなし
ていことが一番の課題となっ
ています。昔は乙姫の4地
区が代わりがわりに祭りを
行ってきましたが、子ども
神輿の担ぎ手が少なくなっ
てきたこともあり、今では
乙姫の4地区合同で祭りを
行っています。

後継者不足の祭りを 乙姫全体で取り組む

数も24年度に比べ、2倍に
増えました。

また、平日に祭りが重
なったときは、小学校と連
携して学校を早退して祭り
に参加していただくなどし
て対応しています。しかし、
子どもが減ってきている現
状は変わらないので、今後
は氏子会を作って、氏子会
を中心とした祭りを開催
し、乙姫全体を巻き込んだ
祭りにしていこうという取
組みを考えています。

これからに向けて

参 拝者の中には、子安
河原観音と乙姫神社
の場所を間違える方もい
らっしゃるので、これを解
決するためにも案内看板を
増やしていこうと考えてい
ます。また、参拝者に気持
ち良くお参りしていただ
けるよう、それぞれにお参
り看板の設置や、乙姫神社の
参道の両サイドに「灯籠」
を並べ参拝者に喜んでい
ただけるような工夫もしてい

きたいです。
さらに、現在開催してい
るイベントを継続しながら
今まで以上に乙姫区をPR
できるような活動をしてい
きたいと思っています。その一
つとして、イベント参加者
への「おもてなし」の充実
を図るために、乙姫にしか
ない農産物を使った料理の
開発に取り組み、イベント
参加者に「乙姫に来てよ
かった」、「また乙姫に来た
い」と思ってもらえるよ
うこれからも頑張ります。